

データ原稿の作成方法

こちらでは各ソフトでの注意点や設定方法をまとめております。
各ソフトの使い方や原稿描き方は、現在多くのサイトに紹介されています。
そちらをご確認いただくか、各ソフトメーカーにお問合せください。

データ入稿の共通注意点

保存について

直接ご入稿または郵送等でご入稿の場合、データをメディア (CD-R、DVD-R、USB メモリ等) に保存する際は、極力圧縮せずにご利用ください。

オンライン入稿の場合は、なるべく一つのファイルにまとめて、まとめたファイルを圧縮してから、ご入稿ください。

保存の際は必要なデータのみとし、不要なデータは必ず削除してください。

メディアに保存した際は、一度【取り出し】し再度【読み込み】し、全て保存されているか、確かめてください。

保存の際の【ファイル名】【フォルダ名】は半角英数字とし、開封した際に何のデータかわかる様にお願いします。

ファイル名例 003walk.psd・004walk.psd
001.eps・002.eps・003.eps など

フォルダ名例 hyousi・honbun・kuchie など

注意：エラー防止の為、ファイル名やフォルダ名は短めにしましょう。

ノンブルについて

本文原稿には、印刷に出る範囲に必ずノンブルを入れてください。

ノンブルが無いと【乱丁】【落丁】の原因となります。

また、上記ファイル名の番号と合わせるようにしてください。

縮率について

データ原稿の場合、縮率は【100%】原寸にて作成の上、ご入稿ください。

弊社での【縮小】【拡大】はトラブル防止の為、お受け出来ません。

画像見本について

データ入稿の場合、画像の出力見本を極力付けるようにしてください。

JPG 画像等の本データとは別の簡易的な画像を付けていただいても構いませんが、出力の際のサンプルとなりますので、極力 紙出力をお願い致します。

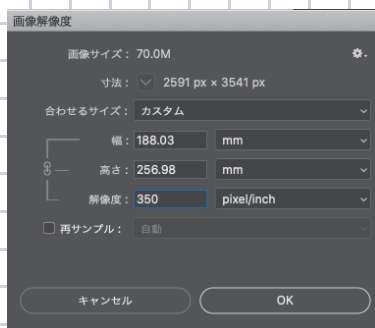
画像（出力）見本が無くても、受付は可能ですが、出力トラブル等の保証が出来ない場合があります。あらかじめご了承ください。

フルカラーデータについて

- 解像度は 350dpi(350pixel/inch) を推奨します。
 - ・一般的に 300~600dpi でご入稿ください。
 - ・300dpi 以下でもご入稿は可能ですが印刷が粗くなります。

注意

画像解像度の単位は <pixel/inch> になっていますか？ <pixel/cm> になっているとデータ容量が非常に重くなります。



- 入稿時の画像モードは <CMYK> にしましょう。
 - ・RGB モードは【光の三原色】で、【色の三原色+スミ】の CMYK モードでは再現出来ない色が含まれます。必ず CMYK モードに変換してからご入稿ください。
 - ・CMYK モードに変換出来ない場合は、ご入稿前にご相談ください。



- 画像サイズとトンボ
 - ・規格サイズの上下左右に各 3mm または 5mm の塗り足し分を設けた原稿で作成していただければトンボが無くても問題ありません。
 - ・以下 A5・B5 サイズ仕上りの表紙データサイズとなります。

A5 サイズのサイズ (塗り足し 3mm の場合)

◆表 1 と表 4 をつなげて作成される場合

横：塗り足し 3mm + 148mm + 背幅 + 148mm + 塗り足し 3mm
 縦：塗り足し 3mm + 210mm + 塗り足し 3mm = 216mm

◆表 1 と表 4 をわけて作成される場合

横：塗り足し 3mm + 148mm + 塗り足し 3mm = 154mm
 縦：塗り足し 3mm + 210mm + 塗り足し 3mm = 216mm × 2 点
 (必要に応じて背表紙分の横：背幅 × 縦：216mm を追加 1 点)

B5 サイズのサイズ (塗り足し 3mm の場合)

◆表 1 と表 4 をつなげて作成される場合

横：塗り足し 3mm + 182mm + 背幅 + 182mm + 塗り足し 3mm
 縦：塗り足し 3mm + 257mm + 塗り足し 3mm = 263mm

◆表 1 と表 4 をわけて作成される場合

横：塗り足し 3mm + 182mm + 塗り足し 3mm = 188mm
 縦：塗り足し 3mm + 257mm + 塗り足し 3mm = 263mm × 2 点
 (必要に応じて背表紙分の横：背幅 × 縦：263mm を追加 1 点)

◆背幅の目安◆

上質紙 70kg・クリーム書籍
 本文のページ数 × 0.05mm

上質紙 90kg
 本文のページ数 × 0.063mm

上質紙 110kg・コミック紙各色
 グレーバルキー
 本文のページ数 × 0.075mm

ホワイトバルキー
 クリームバルキー・クラフト
 本文のページ数 × 0.06mm

バージョンと保存形式

バージョンは旧バージョンから最新の CC まで対応可能です。ご入稿の際に【バージョン名】をお知らせください。
 psd 形式または eps 形式のどちらかをお願いします。

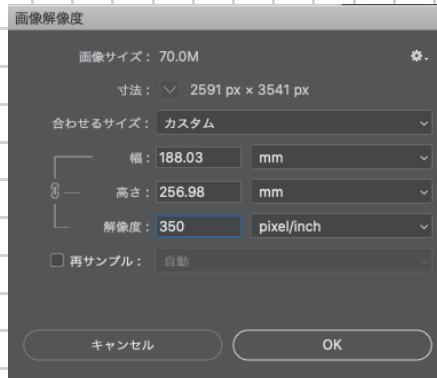
※外ワクは仕上り線のサイズより 天地左右 3mm~5mm 大きくなります

単色 / 多色表紙・本文データについて

- 画像モードは【グレースケール】または【モノクロ 2 階調】のどちらかをお願いします。
- 解像度 グレースケール：350～600dpi(pixels/inch)
モノクロ 2 階調：600～1200dpi を推奨します。
- 300dpi 以下でもご入稿は可能ですが、印刷が粗くなります。

注意

画像解像度の単位は <pixels/inch> になっていますか？ <pixels/cm> になっているとデータ容量が非常に重くなります。



印刷で再現可能な濃度について

オフセット印刷での再現可能な濃度の目安は、およそ 10%～90% 程度です。使用する用紙によっては 5% 程度でも再現可能ですが、ベタ面積が大きいと 80% 程度でもつぶれてしまう事もあります。

※モノクロ 2 階調に変換する場合は 75 線 (75lpi) 以下を推奨します。



弊社の本文出力線数は 150 線 (150lpi) です

■ 画像サイズとトンボ

- 規格サイズの上下左右に各 3mm または 5mm の塗り足し分を設けた原稿で作成していただければトンボが無くても問題ありません。

A5・B5 サイズの本文用データサイズ

A5 サイズの本文 (塗り足し 3mm の場合)

横：塗り足し 3mm + 148mm + 塗り足し 3mm = 154mm

縦：塗り足し 3mm + 210mm + 塗り足し 3mm = 216mm

B5 サイズの本文 (塗り足し 3mm の場合)

横：塗り足し 3mm + 182mm + 塗り足し 3mm = 188mm

縦：塗り足し 3mm + 257mm + 塗り足し 3mm = 263mm

A4 サイズのチラシ等データサイズ

A4 サイズのチラシ等 (塗り足し 3mm の場合)

横 (縦)：塗り足し 3mm + 210mm + 塗り足し 3mm = 216mm

縦 (横)：塗り足し 3mm + 297mm + 塗り足し 3mm = 303mm

B4 サイズのチラシ等 (塗り足し 3mm の場合)

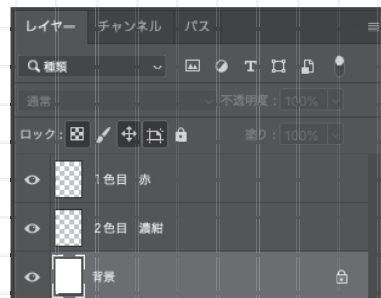
横：塗り足し 3mm + 257mm + 塗り足し 3mm = 263mm

縦：塗り足し 3mm + 364mm + 塗り足し 3mm = 370mm

チャンネルとレイヤーについて

不要なチャンネルは必ず削除してください。
レイヤーは多色刷りや箔押し等に使用していない限り、統合をお願いします。

【多色刷りをレイヤーで色分けした場合】



※レイヤー名に「○色目・○色」等の指示を入れてください。

箔押し指定やフルカラーに + 1 色等も同様に明記してください。

バージョンと保存形式

バージョンは旧バージョンから最新の CC まで対応可能です。
ご入稿の際に【バージョン名】をお知らせください。
psd 形式 または eps 形式 のどちらかをお願いします。

解像度・フルカラーについて

Illustrator では画像解像度の考え方はありませんが、【配置】するデータは前記 Photoshop と同様となります。フルカラーの場合、必ず CMYK モード（RGB モード不可）で解像度 350dpi 推奨となります。

スポットカラーについて

スポットカラーは使用不可です。スポットカラーは CMYK に変換してからご入稿ください。

サイズ・トンボについて

サイズは 18～19 ページ、Photoshop ページにてご確認ください。

Illustrator では トンボ必需 となります。

【トンボは必ずトリムマークで作成してください】

仕上りサイズを長方形ツールで作成します。

書いた仕上り線を選択した状態でメニューバーの【オブジェクト】

から【トリムマークを作成】で作成します。

これで仕上り線に 3mm 塗り足し分を含むトンボが出来ます。

出来上がったトンボの色がフルカラーの場合は CMYK 各 100%、

本文等モノクロの場合は K100% になっている事を確認してください。

文字について

原稿が完成したら、【文字のアウトライン化】を必ずしてください。

アウトラインがされていないと文字化けを起こします。

注意

アウトライン後にカラのテキストポイントが孤立点として残っている場合があります。「フォント検索」でフォントが残っていないか確認してください。特にトリムマークより外に不要な文字やパスまたはオブジェクトがあると、印刷位置がズレる恐れがあります。

Illustrator

文字のアウト
ライン化は
お忘れなく！

・文字化けや印刷位置のズレる原因になります。

高の場合

です。

文字のアウトライン化を忘れたり、欄外

これが孤立点

不要な孤立点やパスの削除
「オブジェクト」→「パス」
→「パスの削除」
で削除する事が出来ます。



【孤立点を探すには】

CS の場合 「選択」→「オブジェクト」→「余分なポイント」

CC の場合 「選択」→「オブジェクト」→「孤立点」
で選択出来ます。

バージョンと保存形式

- ・バージョンは旧バージョンから最新の CC まで対応可能です。ご入稿の際に必ず【バージョン名】をお知らせください。
- ・保存の際は【配置した画像を含む】にチェックを入れて保存してください。
- ・形式は ai 形式 または eps 形式 のどちらかをお願いします。

バージョン: Illustrator 2020

Illustrator 24 以降と互換性があります。

フォント

使用している文字の割合が次より少ない場合 ①
サブセットにする: 100%

オプション

- ☒ PDF 互換ファイルを作成
- ☒ 配置した画像を含む
- ☒ ICC プロファイルを埋め込む
- ☒ 圧縮を使用

Word、InDesign 等、文章作成・編集ソフトの場合は PDF ファイルに変更の上、ご入稿ください。各ソフトの保存形式のままでは「改行誤差」や「文字化け」の原因となります。必ず以下の点に注意して「PDF 形式」でのご入稿をお願いします。

注意

Photoshop・Illustrator、または PSD・EPS 形式にて出力可能なソフトで作成された原稿の場合は、PDF 形式 ではなく、PSD・EPS・AI 形式でのご入稿をお願いします。

PDF ファイルについての注意点

- 対応バージョン PDF 1.3~1.7 (Acrobat 4.0 以降)
【PDF X1a 2001 JPN】が選択可能な場合はこちらで保存してください。
PDF 1.2 以前や Acrobat 3.0 以前、PDF/A の場合はお受け出来ません。
- フォントは必ず 全て埋め込み をお願いします。
フォントは【すべてのフォントを埋め込む】にチェックしてください。
サブセットフォント【100%】になっている事をご確認ください。
画像のダウンサンプルを全て【オフ】にしてください。
- PDF への書き出し後の確認
プロパティを確認、【フォント】にて全てのフォントが【埋め込みサブセット】となっている事を確認してください。

注意

埋め込みが出来なかったフォントがある場合、そのフォントは印刷用の原稿にはご利用いただけません。別のフォントへの変更をお願いします。
埋め込みされていないフォントがある場合の【文字化け】等は保証出来ません。

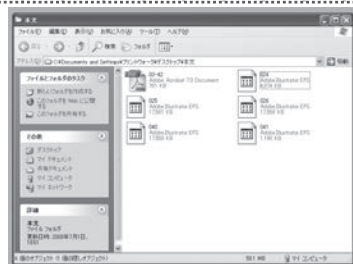
他のファイルとの混在

- 小説等で挿絵などがある場合の Word データ作成について
PDF ファイルと PSD 形式 (Photoshop) 等のデータが混在する原稿の場合、PDF ファイルは基本的に一つのファイルにまとめてください。
差し替え該当するページを改行等で【白紙】にしておいた上で、Photoshop 等の差し替えデータを別に用意ください。
印刷申込書の備考欄に差し替えページの指示をご記入ください。
注意：上記の場合、差し替える原稿にも必ず、ノンブルが必要です。

【混在ファイルの保存例】

PDF ファイル：P03~P42（差し替えページは白紙の状態）
その他 画像ファイル：5 枚

- ※差し替えページにも、仕上りサイズ内に必ずノンブルを入れてください。
- ※差し替えページのファイル名は、ノンブルに合わせて
024.eps や 025.eps の様に入れてください。



最後に確認を

PDF 形式に変換した際は、Acrobat Reader 等で【文字化け】等が無い事を確認してください。
可能であれば 紙に出力し確認し、ご入稿の際に出力見本として一緒にご入稿ください。

Word を使った PDF データ作成

この作成方法は【飾り罫や塗り足しの必要の無い原稿】を想定しています。

飾り罫がある場合は【トンボ】が必要になることがあります。

仕上がり線付近にベタなどがあり、白が出て欲しくない場合は塗り足しが必要になります。

使用したソフトは【Word 2010】です。それ以外のバージョンでは仕様が異なることがあります。Word 2003 以前のバージョンでは、PDF 化する機能が備わっていない為、以下の手順で PDF データを作成することは出来ません。その際は市販の【PDF 変換ソフト】をご利用いただくか、ご入稿前に弊社までご相談ください。

Word での PDF 作成手順：Part.1

1. Word で作成した文章を用意します

・この段階で、用紙の設定などができていないとレイアウトが崩れますのでご注意ください。

2. ①の「ファイル」から②の「印刷」を選び、「プリンタ」から③の「Adobe PDF」を選択します。

基本サイズ一覧

A5 サイズ 幅 148mm × 高さ 210mm

A6 (文庫) サイズ 幅 105mm × 高さ 148mm

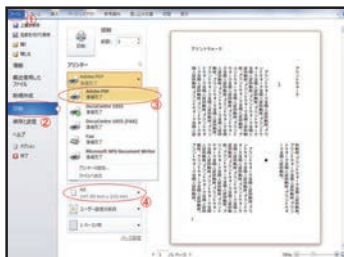
B5 サイズ 幅 182mm × 高さ 257mm

B6 サイズ 幅 128mm × 高さ 182mm

新書サイズ (一例) 幅 103mm × 高さ 182mm

※塗り足しがある場合は上下左右に3mmまたは5mm大きめに設定してください。

図解:PDF作成手順その1



・④で出力用紙サイズが「仕上がりサイズ」になっていることを確認してください。

3. ①の「プリンタのプロパティ」を選択し、PDF 出力の設定をします

・②の PDF 設定は「PDF/X-1a:2001」を選択してください。

・③で PDF ページサイズも確認してください。

・④「システムのフォントのみ使用し、文章のフォントを使用しない」のチェックを外します。

図解:PDF作成手順その2



4. フォントを埋め込む設定をします

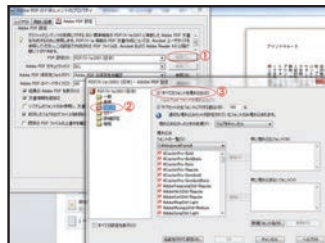
・① PDF 設定にある「編集」のボタンを選択します。

・②「フォント」を選択します。

・③「すべてのフォントを埋め込む」にチェックを入れます。

※必ず全てのフォントの埋め込みを行ってください。埋め込まれていないとフォントが変わってしまう可能性があります。その場合は弊社にて責任を負いかねますのでご注意ください。

図解:PDF作成手順その3



Word での PDF 作成手順 : Part.2

5. ①の「保存と送信」から②の「PDFドキュメントの作成」を選びます

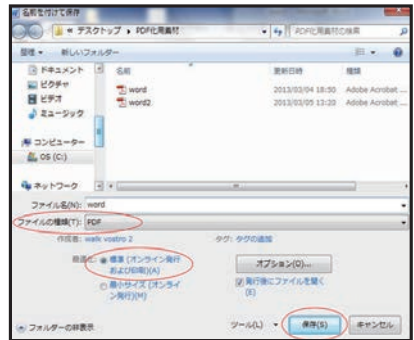
図解:PDF作成手順その4



6. ファイルの種類がPDF形式になっていることを確認して保存します

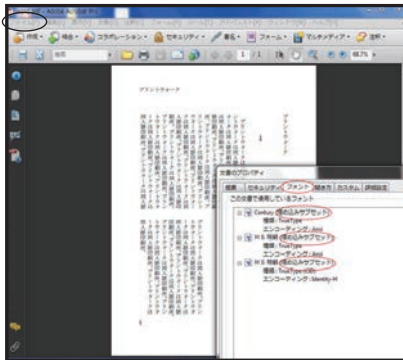
5. ③のボタンを押すと、このウィンドウが出てきます。「標準 (オンライン発行および印刷)」にチェック、「ファイルの種類」がPDFになっていることを確認して保存ボタンをクリックしてください。

図解:PDF作成手順その5



7. 出来上がったPDFのフォントデータを確認します
「ファイル」から「文書のプロパティ」を開き「フォント」を選択し、全てのフォントが埋め込みサブセットになっていることを確認してください。

図解:PDF作成手順その6



8. 出来上がったPDFのデータサイズを確認します

「ファイル」から「文書のプロパティ」を開き「概要」を選択し、ページサイズが仕上がりサイズになっていることを確認してください。塗り足し分大きく設定している場合、その設定したサイズになっていればOKです。

図解:PDF作成手順その7



9. PDFデータに問題がないかを確認します
ノンブルやフォントが文字化けなどを起こしていないか確認してください。
PDF ファイルへ変換する際にデザインが崩れたりするといったトラブルが起こることがあります。出力時にエラーが発生する場合もあるのでプリンタ出力 (紙への出力) での確認をおすすめします。

最後に確認を

PDF 形式に変換した際は、Acrobat leader 等で【文字化け】等が無い事を確認してください。
可能であれば 紙に出力し確認し、ご入稿の際に出力見本として一緒にご入稿ください。

CLIP STUDIO ではオリジナルの保存形式となるため、そのままでは印刷用の原稿にはなりません。
印刷会社へのご入稿の際は、PSD 形式・EPS 形式・TIFF 形式のいずれかに変換をお願いします。

注意

ソフトは、常に最新のバージョンにアップデートをおすすめします。
以下は「CLIP STUDIO PAINT1.9.11」タブレット版になります。

新規ファイルの作成

■ CLIP STUDIO を開く → 「ファイル」 → 「新規作成」

2. 製本(仕上がり)サイズ

本のサイズは7ページを参照の上で入力
例: B5 本[幅 182mm×高さ 257mm]
A5 本[幅 148mm×高さ 210mm]
[裁ち落とし幅: 3mm]を推奨

3. 解像度

モノクロ・単色原稿であれば「600dpi」
表紙などカラー原稿は「350dpi」で推奨。

4. 基本表現色

グレー塗りで作成される場合は「グレー」
トーンなど網点の場合は「モノクロ」を選択。

「グレー」で2値化されていない網点トーンを
使用した場合にモアレが起こる可能性があります。

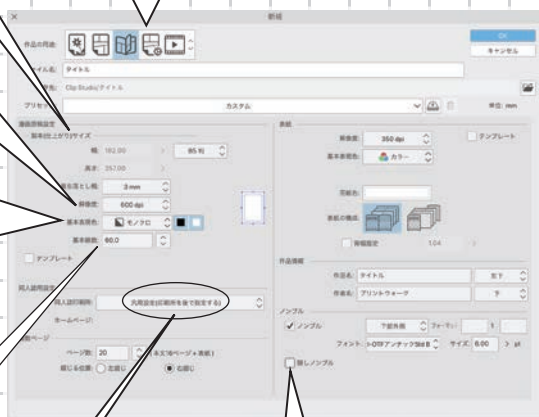
5. 本文基本線数: [60.0] に設定してください。

60 線を越えた場合、綺麗に出力され
ない可能性があります。

1. 作品の用途:

[コミック]・[同人誌入稿]・
[全てのコミック設定を表示]のいずれかを選択
(ここでは「同人誌入稿」で設定しています)

6. 同人誌印刷所: 汎用設定

7. ノンブル: 「ノンブル」にチェック
必要に応じ「隠しノンブル」にチェック

カラー原稿作成前にプロファイルを確認

カラープロファイルのプレビュー

「表示」→「カラープロファイル」→「プレビューの設定」
→「CMYK Japan Color 2001 Coated」を選択します。
より印刷物に近い色味を確認することが出来ます。
※モニターによって色味が異なりますのでご注意ください。

■ 上記設定後「表示」→「カラープロファイル」→「プレビュー」に
チェックをつけた状態で作業することで、「作業中データ」を
「書き出し後データ」の色味で作成できます。



CLIP STUDIO での原稿の描き方、操作方法については、ソフトメーカー様の
サイト等に多く紹介されています。そちらをご確認いただくか、操作方法に
ついてはソフトメーカー様のサイトにてご確認ください。

入稿用のデータに書き出す・PSD 形式推奨

※CLIP STUDIO のオリジナル形式では入稿出来ません。

- フルカラー原稿を1枚ずつ書き出す方法…フルカラー表紙やフルカラー口絵など
「ファイル」→「画像を統合して書き出し」→「.psd (Photoshop ドキュメント)」
※箔押し等でレイヤーを統合せずに出力したい場合は 26 ページへ

1. 「[背景] として出力する」にチェック (レイヤーが統合)

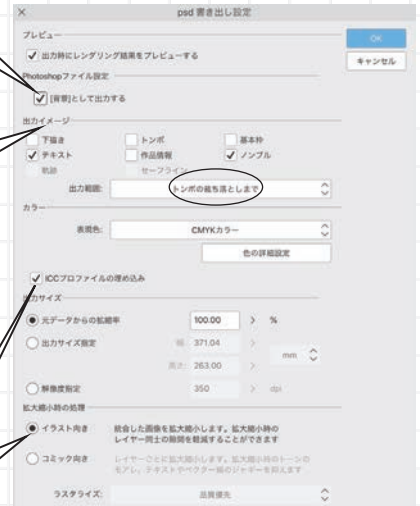
2. 出力イメージ：

「トンボの断ち落としまで」を推奨。(トンボは不要)
※[ページ全体]を選択した場合のみ[トンボ]にチェック
[テキスト]にチェックを入れます。
本文等のカラーページ場合は[ノンブル]にもチェック。

※弊社では「仕上がりサイズ + 各塗り足し 3mm」であればトンボはなくても問題ありません。

3. 表現色：「CMYK カラー」を選択。
「ICC プロファイルの埋め込み」にチェック。

4. 拡大縮小時の処理：
フルカラー原稿の場合は「イラスト向き」にチェック。



- モノクロ原稿を1枚ずつ書き出す方法…モノクロ本文や単色表紙など
「ファイル」→「画像を統合して書き出し」→「.psd (Photoshop ドキュメント)」
※箔押し等でレイヤーを統合せずに出力したい場合は 26 ページへ

1. 「[背景] として出力する」にチェック (レイヤーが統合)

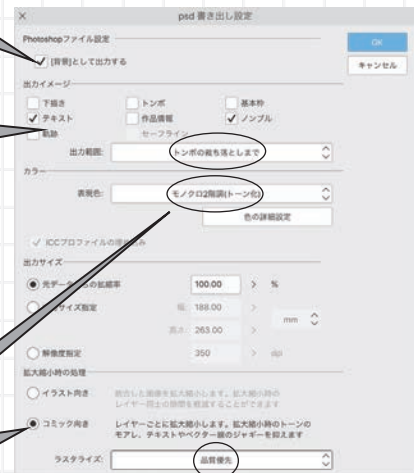
2. 出力イメージ：

「トンボの断ち落としまで」を推奨。(トンボは不要)
[ページ全体]を選択した場合のみ[トンボ]にチェック
[テキスト]にチェックを入れます。
本文等のカラーページ場合は[ノンブル]にもチェック。

※弊社では「仕上がりサイズ + 各塗り足し 3mm」であればトンボはなくても問題ありません。

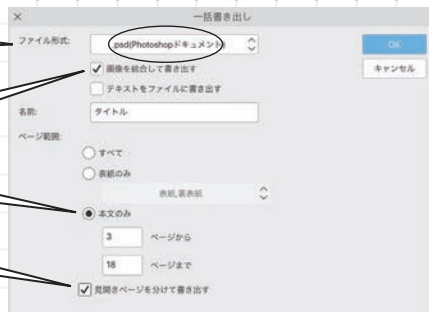
3. 表現色は、作成したモードに応じて「グレースケール」または「モノクロ2階調」のどちらかを選択

4. 拡大縮小時の処理：モノクロ原稿の場合は「コミック向き」にチェックし ラスタライズは「品質優先」を選択



- 複数ページの書き出す方法…本文など
 ・「ファイル」→「複数ページ書き出し」→「一括書き出し」

1. 「.psd (Photoshop ドキュメント)」を選択。
2. 「画像を統合して書き出す」にチェック。
3. ページ範囲は「本文のみ」にチェックします。
4. 見開き原稿がある場合には
 「見開きページを分けて書き出す」にチェック



5. この後は 25 ページ【モノクロ原稿を 1 枚ずつ書き出す方法】に沿って書き出しを行ってください。

- レイヤー分けの必要な原稿を書き出す方法…箔押し表紙や多色刷り表紙など
 ・「ファイル」→「複製を保存」→「.psd (Photoshop ドキュメント)」

以下の作業前に不要なレイヤーは削除してください。
 必要なレイヤーには【箔】【赤刷り】等の名前を付けてください。

1. 出力イメージ：
 - 「テキスト」→「トンボ」にチェック。
 - ※口絵や本文等、ノンブルが必要な場合は「ノンブル」にもチェック。



2. カラー：
 - ・ カラー表紙・口絵の場合
 表現色「CMYK カラー」を選択。
 ICC プロファイルの埋め込みをチェック。
 - ・ モノクロ本文の場合
 表現色「グレースケール」を選択。

- 「出力サイズ」は、基本的には「元データからの拡張率」は 100% となります。

どうしても書き出しサイズを変えたい場合

- 【出力範囲】を【トンボの断ち落としまで】とし、【出力サイズ指定】にて希望のサイズを入力します。
 ※書き出し後のデータを縮小・拡大すると【モアレ】等の原因となります。
 必ず CLIP STUDIO データから書き出すようにしましょう。
 ※【出力サイズ指定】に入力するサイズは、上下左右に 3mm の塗り足しを含めたサイズです。
 サイズを間違えると、原稿が切れたり、本の端に【白】が出てしまいます。慎重に入力しましょう。

書き出しが終わったら…

可能な限り、Photoshop で開き、原稿を確認するようにしてください。
 また、出力見本を付けていただければ、書き出しミスや焼きミスの確認が出来ます。
 書き出したデータは、一つのフォルダにまとめて CD-R などの各メディアに保存してください。
 オンライン入稿の場合は、フォルダを圧縮した上でアップロードしてください。

MediBang Paint ではオリジナルの保存形式となるため、そのままでは印刷用の原稿にはなりません。印刷会社へのご入稿の際は、PSD 形式（推奨）に変換の上、ご入稿ください。

新規ファイルの作成

※作業進行には【メディバンクラウドサービス】へのログインが必需となります。

■「ファイル」→「新規クラウドプロジェクト」→ テンプレート右の「詳細表示」にて設定

1. サイズ・仕様設定

サイズは A5 または B5 を選択

モノクロ原稿の場合→同人誌 (A5 または B5 仕上り) グレースケール
カラー原稿の場合 → 同人誌 (A5 または B5 仕上り) カラー

表紙と本文を別々に書き出す場合、
各々で【新規ファイル】の作成を
オススメします。

2. デフォルトのページサイズ

A5、B5 サイズ以外は手動で打ち込みます。

※本のサイズは 07 ページを参照

解像度は 本文グレースケールの場合：600dpi

表紙カラーの場合：表紙解像度：350dpi 推奨

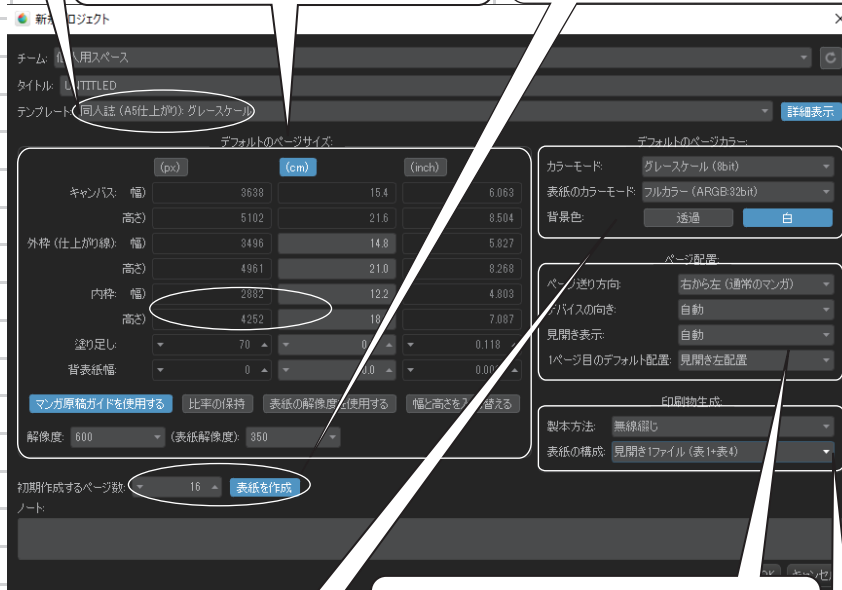
3. 初期作成するページ数

予定している本文ページ数（偶数）を入力

例：表紙込み 20 ページの場合、

20-4（表紙分）で 16 と入力します。

※作成中に必要に応じて増減出来ます。



4. デフォルトのページカラー

カラーモード：

本文モノクロの場合、グレースケール (8bit)、
または 2 値 (1bit) を選択してください。

表紙のカラーモード：

表紙カラーの場合、フルカラー (ARGB,32bit)
背景色：白を選択してください。

5. ページ配置

ページ送り方向：

右トジ（本文縦書き）の場合：「右から左」

左トジ（本文横書き）の場合：「左から右」

見開き表示：見開きで作成するなら「自動」

6. 印刷物生成

製本方法：印刷を発注する際の製本方法を選択してください。

表紙の構成：

表 1 と表 4 を別々に作成する場合は「2 ファイル」

繋げて作成する場合は「見開き 1 ファイル」を選択。

未定なら「選択しない」とし後から変更も可能です。

入稿用データに書き出し・PSD形式推奨

■ 本文等の複数ページを書き出す場合

ファイル書き出し設定

「ラスタライズする」にチェック（レイヤーが統合されます）

・[出力]はモノクロ本文の場合、上記[4]に合わせて
グレースケール (8bit)、もしくは 2 値 (1bit) を選択。

・[出力範囲]は「塗り足しまで」（推奨）か「トントボまで」

・CMYK ソフトブルーフ

フルカラー原稿を書き出す場合、CMYK プロファイル
「CMYK Japan Color 2001 Coated」に設定してください。

「表示」→「CMYK ソフトブルーフ」にチェックをつける事で、
印刷時に近い色味の状態にすることができます。

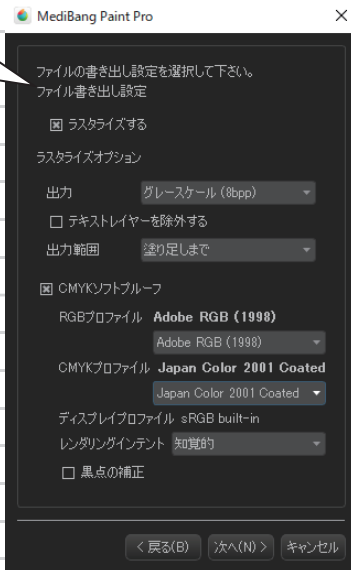
注意

「テキストレイヤーを除外する」に
チェックしないようにしましょう！

※一括書き出しをした際にファイル名と原稿のノンブルが
異なる場合があります。

「プロジェクトパネル」→「マンガプロジェクト」→
「ページ追加」を選択、「ページ種類」→「その他」で
架空ページを作成する事で調整してください。

MediBang Paint で作成したデータは
ご入稿の際、PSD 形式（推奨）に
変換の上、ご入稿ください。

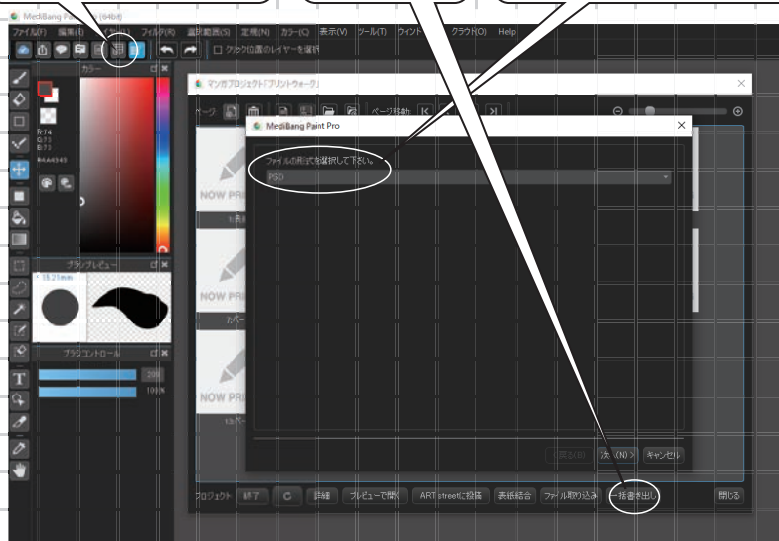


■ 「プロジェクトパネルを表示」→「一括書き出し」→ ファイル形式は「PSD」を選択してください。

1. プロジェクトパネルを表示

2. 一括書き出し

3. ファイル形式は「PSD」を選択



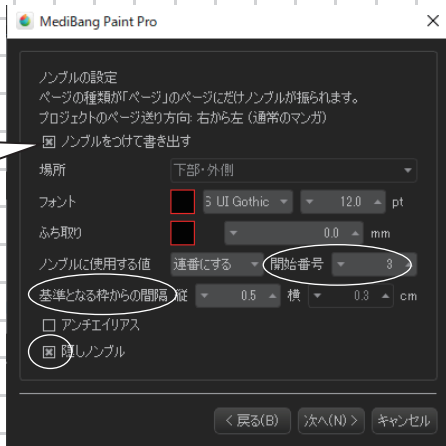
ノンブル設定

本文原稿には「ノンブル」が必要となります。

- 「ノンブルを付けて書き出す」にチェック
- ノンブルの場所は好みの場所を選択
- 「基準となる枠からの間隔」で微調整可能です。
- 本文始まりページ数を「開始番号」で設定します。
1ページ始りの場合は「1」、3ページの場合は「3」
- 本になった際、ノンブルを隠したい場合は、
「隠しノンブル」にチェックを入れます。



あらかじめ「保存先フォルダ」を作っておくと便利です。
フォルダ名は 半角小文字で分かり易い名前です。
「honbun」や「nyukouyou」など。



単ページで原稿を作成する場合

- 新規ファイルの作成
「ファイル」→「新規作成」→「マンガ」を選択
- 各サイズの同人誌テンプレートを選択
※ A5・B5以外のサイズは07ページを
参考に手動で入力してください。
- 解像度は カラー原稿の場合：350dpi
モノクロ原稿の場合：600dpi
- 背景色：白、塗り足し：3mm(推奨)
- 表紙など 表1～4を繋げて作成の場合は
「見開き/くるみ表紙」にチェック
- 背表紙幅：07ページを参考に入力

単ページ原稿を入稿用データ (psd 推奨) 書き出しの注意

上記【新規ファイル】の設定がされている場合、
【以下のサイズ内に収めて保存】【解像度を変更する】
のチェックを外して書き出しをお願いします。

書き出しが終わったら…

可能な限り Photoshop にて開き、原稿を確認するようにしてください。
また、出力見本を付けていただければ、書き出しミスや保存ミスの確認が
出来ます。書き出したデータは、一つのフォルダにまとめて、CD-R などの
各メディアに保存してください。オンライン入稿の場合は、フォルダを
圧縮した上でアップロードしてください。



データで多色刷り原稿を作成する場合も、アナログ原稿同様に色数分のデータが必要になります。例えば赤と青の2色刷りの場合、赤版のデータと青版のデータが必要になります。それぞれのデータを別のファイルにて作成していただいても構いませんが、データの場合、以下の方法で一つのファイルで作成する事も可能です。

例：赤と青の2色印刷の場合

刷歩

+

刷歩

刷歩

青版データ

赤版データ

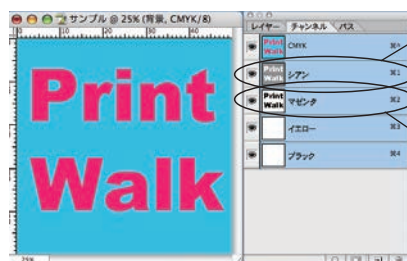
刷り上がり

Photoshop で作成する場合

- レイヤーで2版に分けて作成する方法とチャンネルで CMYK の C(シアン)版 と M(マゼンダ)版のみで作成する方法があります。いずれの方法でも【どの方法で作成したか?】【どの版を何色で刷るのか?】必ず指定をしてください。

Photoshop のチャンネルで C(シアン)版と M(マゼンダ)版を使用し作成した場合

C版とM版の2つをチャンネルを表示した場合



シアン版のチャンネル表示



マゼンタ版のチャンネル表示



Illustrator で作成する場合

- Photoshop 同様、CMYK の C(シアン)版 と M(マゼンダ)版で分ける方法以外に スポットカラーやカスタムカラーで分ける方法もあります。ただし、Photoshop 画像等の配置がある場合、同一の版で作成されないで印刷出来ません。

注意

- ・ 上記にあげたどの方法でもインク色を CMYK で擬似的に作成しないでください。印刷が出来ないか、印刷した際にお客様のイメージとは変わってしまいます。
- ・ データはアナログ原稿以上に正確な多色刷り原稿が簡単に作成出来ます。しかし、実際の印刷では機械の構造上の問題や印刷する用紙が湿気等で伸びる等があり、版ズレが発生します。版ズレを防ぐためには、色と色の境目を少しだけ重なる様にするトラップ処理が必要となります。トラップ処理の無いデータの場合、版ズレはあらかじめご了承ください。

版ズレが起きた場合の仕上がり

刷歩

トラップ処理のない青版

刷歩

→

トラップ処理のある青版

刷歩

モアレとは

モアレは異なる網点（ハーフトーン）が重なった際に、網の干渉により網点とは別の独特の模様が出る事をいいます。アナログ原稿でも異なるスクリーントーンを重ねて貼った時に、貼る角度を間違えるとトーンの模様とは別の模様が見える現象と同じ原理となります。

データ上でも、綺麗な2階調化されたハーフトーンであっても、重なる事によってモアレは発生します。

また、データ原稿の場合、印刷用の製版出力の過程でグレースケールは非常に細かな網に変換されます。

その際に、モニターでは確認出来ないモアレが製版・印刷の段階で発生する事があります。

原稿作成の際は以下の点に注意して作成してください。

データでモアレが発生する条件

- モノクロ2階調化したトーンを二重に貼った時。
- モノクロ2階調化したトーンにグレースケールの網を貼り込んだ時。またはその逆。
- モノクロ2階調化したデータの画像解像度やサイズ、角度を変更した時。
- モード変換によりモノクロ2階調化したデータをグレースケールに変更した時。
- 2階調化したハーフトーンの濃度を下げた時。 などがあげられます。

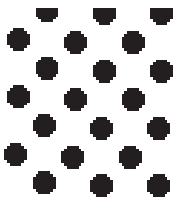
モアレしないデータを作成するには

1. 2階調化したハーフトーンは重ねない。
2. アンチエイリアスをかけない。
3. 2階調化したデータの網点の周りにグレースケールが無いようにする。
4. 一度、2階調化したデータ（網点）は再加工をしない。 などがあります。

※出来上がったデータは100%程度にモニターで表示させ、上記の条件が該当しないか確認しましょう。

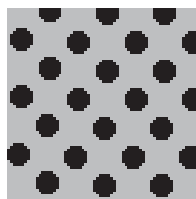
・サンプルを下記に提示致しますので、データ作成の際に参考にしてください。

◆サンプル1



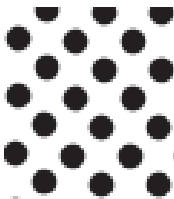
標準的なモノクロ2階調にした網点の拡大図
100%の黒と0%の白のみで出来ています。
モアレは発生していません。

◆サンプル3



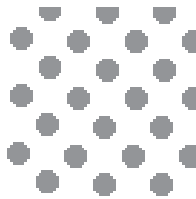
2階調化された網点にグレースケールを貼り込んだ状態。
サンプル2同様、モアレが発生します。

◆サンプル2



網点の周りにグレースケールの存在するアンチエイリアスがかかった状態。周りのグレーがCTPによって2階調化されモアレが発生します。

◆サンプル4



2階調化された網点の濃度が下げられている状態。
これもモアレが発生します。

弊社では通常、データ製版の際に【AM スクリーン】を使用しております。
製版時のモアレ発生を出難くする【FM スクリーン】を選択する事も可能です。
原稿作成上、上記の条件に該当しそうな場合は、ご入稿の際にご相談ください。

FM スクリーンでも、原稿作成の段階でモアレが発生している原稿の場合、モアレを防ぐ事は出来ません

入稿方法

- 入稿可能メディアの種類：CD-R・DVD-R・USB メモリなど
※他のメディアをご希望の場合はご入稿の前にご相談ください。

注意

コピー完了後、必ずメディアにファイルが保存されているか、
コピーしたファイルが開く事が出来るか、確認するようにしてください。

- ご入稿の際には、なるべく見本を付けるようにしてください。

出力見本は縮小してあるもの、低解像度のものでも構いませんが、弊社にてイラストや文字が確認出来る程度のものでお願いします。縮小した場合は縮小率もお知らせください。

【プリントワークデータ入稿チェックリスト記入例】

こんな感じで
記入してください。

入稿時に、データ入稿チェックリスト
または詳細を書いたメモをメディアに
付けていただくと助かります。

- ・データ入稿チェックリストは
弊社サイトからダウンロード可能です。

弊社サイトの【お申し込み書フォーム】を
ご利用の場合は、【使用ソフトのバージョン】
【使用 OS】の記載をお忘れなく。

データ入稿チェックリスト Print Walk

タイトル	ワークへの道		
氏 名	M田 うおーく		
TEL/FAX	03-6454-9181 午後12時～17時		
内容	B5表紙・B5本文・A5本文・チラシ・その他()		
ページ数	28	P	部数 100 冊/枚
使用OS	Macintosh OS (10.7) Windows Ver ()		
メディア	MO() MB()	CD-R	DVD-R USBメモリ
使用ソフト	☒ Photoshop (ver. CS3) 解像度 (350 dpi) ☐ Illustrator (ver.) ☐ その他 ()		
ファイル形式	EPS PSD・AI・その他 ()		
備考			

ここの記入を忘れずに！

本文等にアナログ原稿とデータ原稿のページが混在する場合

混在する原稿でも受付は可能です。

4 ページ単位、または 8 ページ単位であれば問題ありますが、
複雑に混在する場合には、ご入稿前にご相談いただくと助かります。
その際は具体的にどのように混在するかお知らせください。

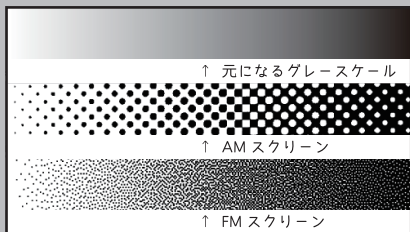
AM スクリーン と FM スクリーン

オマケ

印刷では中間色を再現する事は出来ません。そのため、
グレースケールのデータを印刷する際、点描化する事で
擬似的に中間色を再現する製版をスクリーニングといいます。
スクリーニングには【AM】と【FM】方式があります。

AM スクリーン：規則的に並んだ点の大きさを変える事で
中間色を再現します。点の間隔を示す「線数」があり
数字が大きいくほど高精細となります。

FM スクリーン：中間色を表現する点の大きさは一定で
その密度を変化させる事で濃淡を表現します。点の
大きさを【10μ・20μ】等で表され、数字が小さいほど
高精細となります。



インクを乗せ易くベタを濃く印刷できる事から
弊社では AM スクリーンを採用しております。
モアレの発生し難い FM スクリーンも対応可能
です。ご希望の方は入稿の際にご相談ください。